

この一年の取材を振り返って、工賃アップに向けたさまざまな取り組みの中で、特に印象に残っていることをまとめてみました。

専門家を活用する

例えばパンを作られている施設に訪問すると、パン職人さんがおられたり、アートに取り組まれている施設に訪問すると、デザイナーの方が関わっていらっしゃるということが当たり前のように見られました。そういった「専門家」を活用する背景には、施設で作られたものであっても、一般の商品と同じように高い商品力で勝負するためには、専門家の力が必要という考え方があります。その中にはこれまで支援員が担っていた利用者さんへの支援と生産力の向上という役割を分離して、それぞれの効果を上げたいという思いもあるようです。そういった専門家の存在は商品の質の向上だけでなく、商品作りの情報やアイデア、ネットワークの利用など様々な面で活躍の場があります。これまで以上に質の高い商品、おもしろい商品が施設からたくさん生まれてくるのでは、と思いました。

お互いに役に立つ関係

商品の「販路開拓」というのは、どの施設においても重要なテーマです。今回訪問させていただいた施設で営業活動について伺いますと、あるところでは毎週新聞の求人広告を見て、これはと思うところをあたっていく。あるところでは、地元の事業所に飛び込み営業でどんどん声をかけていくことで、成果をあげているということでした。いずれにしても特別な方法ではなく、積極的に取り組むことが基本です。しかし、突き詰めていくとそれぞれの施設なりの工夫もあります。例えば、下請作業であれば、先方のメリットになるようなことを考えて提案をする、自主製品であれば、商品を買ってもらうことだけでなく、販売場所を提供してもらうなど、相手に無理のない範囲で、できる事をお願いしています。営業を通じて、お互いに役に立つことを考えながらのお付き合いが始まります。

今までと同じことをしているのに、工賃は上がるどころかむしろ下がってしまったという施設も珍しくありません。そのような中で、商品開発や営業展開を自分で考え、工賃アップに向けた体制を自ら整えていくという動きが出てきています。

新しい可能性を開拓!!

H23年度は、企業の新規開拓に力を注ぎ、新しい企業様とのお付き合いが続々と生まれています!

大阪府内を5つのブロックに分け、企業ニーズアンケートを持った新規開拓員がローラー作戦で企業を訪問。大阪市内、東部大阪、北部大阪、泉州、南河内とまわり、企業数は11月末で1万件を超えました。特に、可能性の高い大阪市内は何度もまわり、5,442件に達しています。

そして、アンケートを返信していただいた企業様は、1,293件(11月末)。その内の約10%が何らかの形でアンケートにお応えいただきました。

このアンケートを活かし、受注へとつないでいくのが受発注コーディネーターの役割です。企業とのつながりをつくりながら、「施設の可能性」を拡げていくことが仕事です。では、新しい可能性のほんの一部をご紹介します。



下請作業

「こんな仕事があったんだ」と思った作業を2つご紹介します。ひとつは、廃棄されるレンタルDVDの破碎前の処理作業。ケースのシールをはがし、中身のDVDとケースを分別する仕事。もうひとつは、Web制作会社からの仕事で毎月、定められた会社のブログを更新していく作業です。

自主製品

製品の購入では、病院に入院されている方のお誕生日プレゼントや、幼稚園のおもちゃとして「オーガニックコットンのくまのぬいぐるみ」など。身近な場所にもまだまだ営業のチャンスがありそうです。

出店

これまでにないケースでは、商店街の中にある整骨院がクローズしているお昼の時間に店舗の前をお借りするという新しい発想の出店形式です。そして、新しく販売場所を提供していただいた企業様は、「日本生命保険相互会社」「㈱リコー」等、新しい企業様が次々と参加されています。

自主製品の募集

- ・・富士ゼロックス大阪(株)の展示会の記念品・・
- 来場者記念品としてご提案するための商品です。サンプル品及び写真をメールにてエル・チャレンジまで。
- ◆ 販売価格が100～400円程度の商品
- ◆ 来場者記念品なので包装していただけること
- ◆ 注文を受けて2週間以内に20個以上製作できる商品

締切: 1月13日(金)まで

担当 受発注コーディネーター 杉谷
メール kouchin@l-challenge.com

下請作業の募集

- ・・様々なプラスチック部品の取り付け作業・・
- ◆ 東大阪市長田にある企業様からの引き合いです
- ◆ 1～3工程の単純作業
- ◆ 月間3～20万個
- ◆ 単価は0.2円/個～0.8円/個
- ◆ 週に1回は納品・引き取りを行えること

締切: 1月13日(金)まで

担当 受発注コーディネーター 佐山

※全てのお申込みは、工賃引上げ計画シート提出済みの施設・作業所が対象となります。

詳しい内容は、各担当者までご連絡ください!

☎ 06-6949-3551 エル・チャレンジ



工賃アップの輪をさらに広げよう!

43施設が工賃倍増達成

工賃倍増プロジェクトは、5回目の新年を迎えました。ゼロからスタートしたこのプロジェクトはこの間、どんな成果をあげてきたのでしょうか。

工賃引上げ計画シート提出は348施設。大阪府の月額平均工賃は2006年度7,990円から2010年度9,244円へと15.7%のアップ。2006年度と比べて2011年3月時点で工賃倍増を達成した施設は43にのぼります。また、新規取引先企業は200社を超え、年間受注総額は約5,000万円。数字では表せないたくさんの笑顔や自信、人と人とのつながりを生み出してきました。こうした活動は大阪府庁「まちのパンやさん」、インクカートリッジのリサイクル等施設の協働の輪を広げ、シャープ(株)様や三洋電機(株)様、大阪商工信用金庫様等のホームページで紹介されるなど、今や社会の共有財産として定着しつつあります。

「居場所と出番のある社会」へ

「ディーセントワーク (Decent Work)」という言葉があります。「働きがいのある人間的らしい仕事」という意味です。私たちは、「工賃」を「お金」という意味だけでなく、施設で働く人たちの仕事をより価値のあるものにすることを目標にしています。

ある施設を訪問したコンサルタントが言いました。「今やっている部品の組み立て作業がどんな製品になっているのか見に行こう」。目の前にあるのはプラスチックの枠にシールを貼る作業。しかし、それは、ある大手電器メーカーが除菌効果を狙って売り出している冷蔵庫の重要部品なのです。利用者さんが「私は作業所に行ってシールを貼る作業をしています」ではなく、「私は冷蔵庫の部品を作っています」と胸を張って言えるようにと...。言われた通りきちんと仕事をして発注元に喜んでいただくのはもちろんですが、最終的にどんな製品になって、社会で役割を果たしているかを知り、仕事の価値を知ることはその人の尊厳を確立する上でとても大切なことではないでしょうか。